



報道関係者各位

2023年6月29日

Mastercard

## **Mastercard、2028年までに新規製造分の決済カードからPVCプラスチックの使用を廃止 アジア太平洋地域だけで、15市場の90の発行会社が すでにサステナブルカードプログラムに参加**

本文書は、Mastercard [APAC版プレスリリース](#)の日本語訳版となります。

Mastercardは2028年までに自社ネットワークの決済カードから、新規製造分のPVCプラスチックを排除する取り組みを加速させることを発表しました。この取り組みにより、Mastercardのサステナビリティへの貢献が強化され、環境問題への配慮を試みる消費者にとっても利用しやすい仕組みを提供します。

決済ネットワークでの最初の取り組みとして、2028年1月1日より、新しく製造されるすべてのMastercardのプラスチック決済カードについては、より持続可能な素材（再生ポリ塩化ビニル（rPVC）、再生ポリエチレンテレフタレート（rPET）、ポリ乳酸（PLA）<sup>1</sup>などの再生プラスチックや生物由来のプラスチック等）を使用し、認証プログラムを通じて承認される予定です。また、国際的に提携しているカード発行会社のバージンポリ塩化ビニル（PVC）を材料としたプラスチックからの移行もサポートする予定です。（詳細はこちらの[ビデオ](#)をご覧ください）

Mastercard アジア太平洋地域プロダクト&イノベーション担当エグゼクティブ・バイス・プレジデントのSandeep Malhotra（サンディーブ・マルフォートラ）は次のように述べています。「世界にはプラスチックに対する問題があります。プラスチック問題を解決することは社会全体の課題ですが、取り組みはしばしば孤立し、連携せずに行われます。今回のサステナブルカードへの取り組みにより、Mastercardは合計30億枚以上のMastercardカードを保有している銀行、金融機関、消費者の国際的なネットワークを結集し、協力とパートナーシップを通じて、より環境に優しい決済セクターを構築していきます。」

Mastercardは、2018年にサステナブルカードプログラムを開始しました。以降、アジア太平洋地域における15市場<sup>2</sup>のカード発行会社90社を含め、80カ国にわたる330以上のカード発行会社が自発的に参加しました。Mastercardは主要なカード製造会社とパートナーシップを組み、アジア太平洋地域の3,100万枚のカードを含む全体で1億6,800万枚以上のカードをリサイクル素材やバイオベース素材に移行しています。この度の発表は、こうした取り

<sup>1</sup> rPVC、rPET、PLAは主に梱包材や建築材ペットボトルなどに使われるプラスチックの代替品。

<sup>2</sup> オーストラリア、カンボジア、ブルネイ、香港SAR、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム



組みを推進するとともに、物理的なカードを完全に排除するデジタル・ファーストプログラムの取り組みを補完します。

このルール変更により、これから新しく製造されるすべてのカードは、使用成分と持続可能性を評価するために、**Mastercard** によって認証されることとなります。さらにこの認証は、独立した第三者監査人により検証され、カードが認証されると、**Card Eco Certification mark**（カードエコ認証マーク）が刻印されます。

マルフォートラは次のようにも述べています。「ここアジア太平洋地域では、**Mastercard** の発行会社はこの取り組みに非常に好意的で、日本、オーストラリア、台湾、シンガポール、マレーシア、その他多くの市場で、すでに **90** の利用企業がサステナブルカードプログラムに加入しています。つまりカード所有者は、持続可能なプラスチックから製造されたカードであることを誇りに思いながら、自身のカードを持ち歩くことができます。この包括的なネットワークのつながりが、この取り組みをより特別で、より効果的なものにしていきます。」

2018 年には **Mastercard** のデジタル・セキュリティ・ラボを通じて、カードメーカーのジェムアルト、Giesecke+Devrient、IDEMIA とともに、カード製造における初回使用分の PVC プラスチックの使用量を削減するための「グリーンナー・ペイメント・パートナーシップ」を立ち上げ、2021 年には [Mastercard Card Eco-Certification](#) (以下、CEC) スキームを開始しました。

**Mastercard** のチーフ・サステナビリティ・オフィサーである Ellen Jackowski（エレン・ジャコウスキー）は次のように述べています。「**Mastercard** は、事業をネット・ゼロ・エミッションに向けて推進し、自社のネットワークと規模を活用して、低炭素で再生可能な経済への移行を加速させることで、気候変動対策を推進し、廃棄物を削減することを約束します。」

### よりサステナブルな未来を実現するために

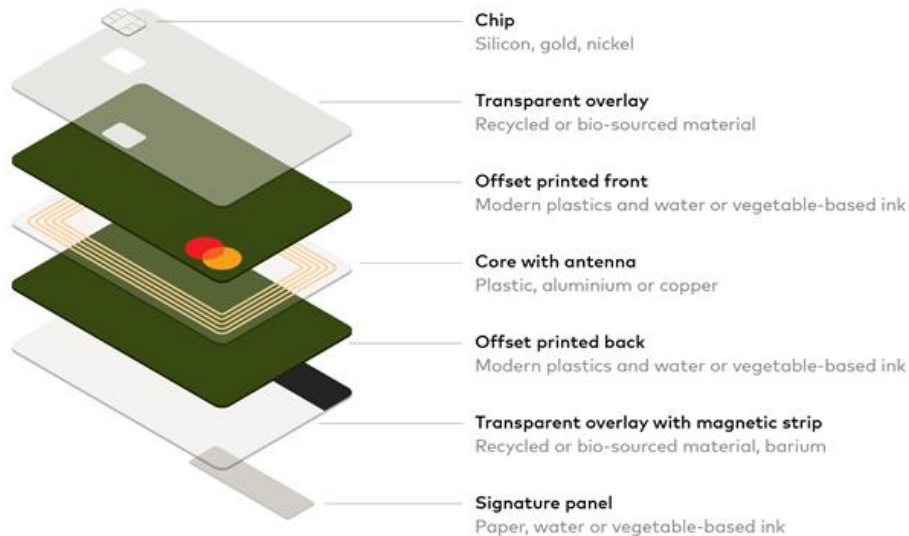
**Mastercard** は 10 年以上前から、金融包摂、データ責任、環境を重視したサステナビリティの取り組みを確立しており、そのネットワークを通じて、パートナーとともに、サステナブルカードのような新たな環境に関する改革やイニシアチブを市場にもたらしています。

また、**Mastercard** は 2025 年までに全世界で 1 億本の木を回復させることを目標とした [Priceless Planet コアリション](#) にも取り組んでいます。アジア太平洋地域では、オーストラリア、韓国、中国、香港特別行政区、台湾、フィリピン、カンボジアの 20 以上のパートナーがコアリションに加盟しており、現在は世界各地で 18 の森林再生プロジェクトが進行しています。

**Mastercard** はさらに、スウェーデンのフィンテック企業 **Doconomy** と共同で [Mastercard カーボン・カリキュレーター](#) を開発しています。世界中のすべての **Mastercard** カード発行会



社が利用可能で、利用者は、簡単に統合できる API によって、Mastercard の所有者は銀行アプリで自身が購入した商品の二酸化炭素排出量（推定値）を把握することができます。この先駆的な ESG フィンテックソリューションは、昨年 11 月にシンガポール金融管理局(MAS) が発表した [シンガポール・フィンテック・フェスティバルのグローバル・フィンテック・アワード 2022](#) で 1 位を受賞しています。



HSBC のウェルス & パーソナルバンキング部門リテールバンキング & ストラテジー責任者である Taylan Turan（テイラン・トゥラン）は次のように述べています。「この度の Mastercard の発表は、金融サービスにとって大きな一歩となりました。rPVC のような持続可能な新素材は、より持続可能な未来を築くための取り組みを加速させる明確な方法を私たちのセクターに提供しています。

HSBC ではネットゼロ戦略の一環として、すでに世界の 28 の市場で、リサイクルプラスチック製ペイメントカードを導入しています。さらに、デビットカード、クレジットカード、コマмерシャルカードのすべてに持続可能な素材を使用するという要件を製品ガバナンスに組み込むことで、埋め立て処分されるはずだった 85 トンのプラスチックの削減を達成しました。これは、強力なパートナーシップなしには達成できなかったことです。世界中で盛り上がりを見せているこのムーブメントの一翼を担うことができたことを誇りに思います。」

###

Mastercard (NYSE: MA) [www.mastercard.com](http://www.mastercard.com)

Mastercard は、決済業界におけるグローバルなテクノロジー企業です。私たちの使命は、決済を安全でシンプル、スマートかつ、アクセス可能なものにするので、あらゆる場所ですべての人に利益をもたらす包括的なデジタルエコノミーを実現し、強化することで

## News Release



す。安全なデータとネットワーク、パートナーシップを活用し、消費者、金融機関、政府、企業の可能性の最大化を目指し、イノベーションとソリューションを提供することに情熱を注いでいます。210を超える国や地域とのつながりを通じて、すべての人々にとってかけがえのない可能性をもたらす持続可能な世界を構築していきます。